

欄間開き金物『ホワイトコ DH-1K/N』 施工要領

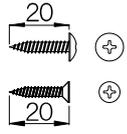
施工者様向け

○本施工要領を必ず事前に読んでから施工してください。また施工後必ずご施主様にお渡しください。

- ⚠️ 注意** この表示の所は本書の通りに施工しないと施工不良や動作不良の原因となります。
- ⚠️ 警告** この表示の所は本書の通りに施工しないと外れ、脱落の原因となり、使用者が重大なケガをする恐れがあります。
- ⚠️ 注意** ○製品の端部でケガをしないよう軍手等を使用の上で施工してください。
○最後にネジが完全に締まっているか確認してください。また指定ネジ以外は使用しないでください。
○磁石を使用した製品です。磁力の影響を受ける物（カードなど）を近づけないでください。
- ⚠️ 警告** ○仮置き状態で扉の開閉はしないでください。外れ、脱落のおそれがあります。
○下記の⑥Bの高さ調整幅の厳守と⑦の位置固定のネジ取付は必ず行ってください。

製品内訳

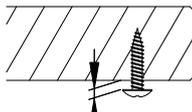
- 金物本体 右左各1個
- 施工要領（本書類）
- 枠用ネジ：トラスティング4×20-6本
- 扉用ネジ：皿タッピング3.5×20-6本



20
20

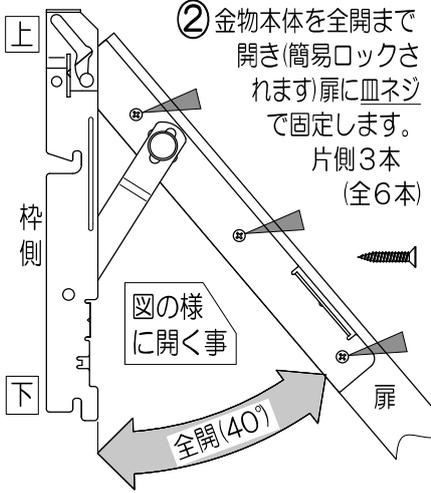
施工要領

① 枠にトラスネジのみを仮止めします。



3~4mm
浮かせて締付片側2本（全4本）
※残りの2本は⑦で使います

② 金物本体を全開まで開き（簡易ロックされます）扉に皿ネジで固定します。片側3本（全6本）

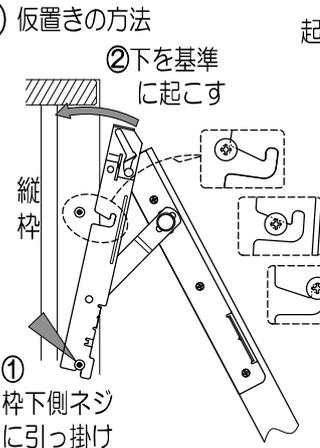


図の様に開く事
全開(40°)

③ 仮置きの方法

②下を基準に起こす

起こしていくと上のネジが上の切り欠きに入ります。垂直になると製品が下がって仮置き完了。



① 枠下側ネジに引っ掛け

⚠️ 警告

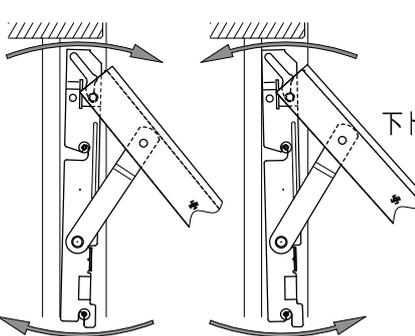
仮置き状態で欄間扉を開閉しないでください。外れ、脱落のおそれがあります。

④ ①で仮止めた枠側4本のネジを手回しドライバーで製品が動かない程度まで締めます。

欄間扉のみ先に吊り込む場合はこの状態で保持します。
トラスネジ(位置固定用：⑦で使用)の紛失に注意

⑥ 欄間扉の調整。 ※枠側4本の仮止めネジを緩めて調整します。

A 前後倒れ角度調整



下ドアとの面合せ戸当りとの隙間の微調整など

B 高さ調整 上げ方向2mmまで可能。

⚠️ 警告

上部チリ(扉と上枠との隙間)は3mm以上確保してください。上げ過ぎると動作不良、外れ、脱落の危険があります。

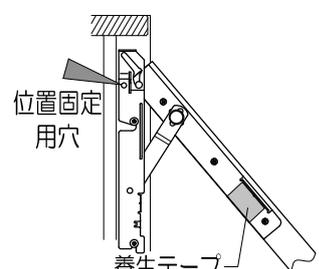
※高さ調整機能については設定されていないドアメーカーもあります。

⚠️ 注意 調整は必ず左右同方向にする事。
(左右で方向が違くと動作不良になります)

⑤ 下の扉（本来のドア）を吊り込み、先に建付け調整を行います。

⑦ 動作確認後、枠側ネジ4本を本締めします。最後に位置固定のトラスネジを取付けて完成。完成後養生テープをはがして下さい。

⚠️ 警告 位置固定のネジは必ず取付けてください。取付ないと外れ、脱落の危険があります。



位置固定用穴
養生テープ

加工図は裏面にあります。

裏面は取扱説明書です。必ずご施主様にお渡しください。

ご施主様用 欄間開き金物『ホワイトコDH-1K/N』取扱説明書

本製品を施工される業者様は必ず本書類をご施主様にお渡しください。

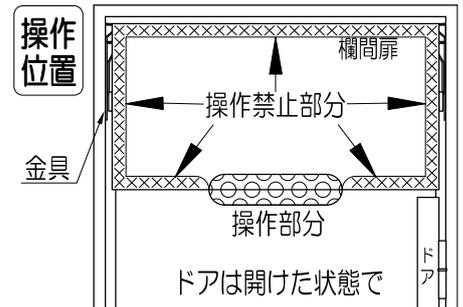
※ご使用の前に本書をお読みになってからご使用ください。

※本書の内容は欄間開き金物『ホワイトコDH-1K/N』とその金物を使用した欄間扉に関するものです。

欄間扉そのものに関しては製造元の説明書をご覧ください。

※本説明書で言う『欄間(ランマ)扉』とは人が行き来する本来のドアの上に設置される横長の扉の事を示します。

- ⚠️ 注意** この表記の所は本書の通りにしないと故障や動作不良の原因となります。
- ⚠️ 警告** この表記の所は本書の通りにしないと脱落や指はさみ等の原因となり、使用者が重大なケガをする恐れがあります。
- ⚠️ 注意**
 - 磁石を使用しています。磁力の影響を受ける物(カードなど)は近づけないでください。
 - 開閉する時は、欄間扉の底辺の中央部付近を操作してください。端で操作されると故障の原因となります。
 - 強風で開いてしまう事があります。その時は強風に当たらないよう外部のサッシを閉めてください。
- ⚠️ 警告**
 - 鋭利な部分は素手で触れないようにしてください。
 - 製品を固定しているネジを緩めたり、外したりしないでください。
 - 下のドア(本来のドア)を開けた状態で欄間扉を操作してください。開けていないと下のドアと欄間扉で指はさみ等の恐れがあります。
 - 欄間扉の底辺の中央部以外を持って操作しないでください。枠部材、戸当り部材、欄間開き金物などで指はさみ等のおそれがあります。

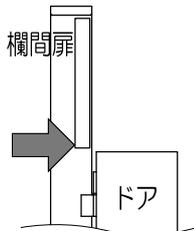


その他

- 扉の左右と枠との隙間が左右で一致しない又は下のドアと左右の位置が一致しない場合がありますが異常ではありません。
- 扉開放時、扉の上と枠の隙間が大きくなりますが異常ではありません。
- グリス等の塗布は必要ありませんが、きしみ音など発生した場合は、摺動部分に市販のグリスを少量塗布してください。

開け方

あらかじめ下のドアを開けておき、扉の中央部(別途参照)を押して開けます。

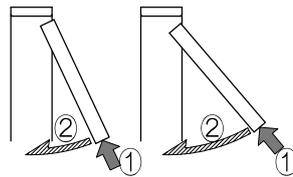


全開、半開で固定可能です。一気に全開まで開くことができますが異常ではありません。閉め動作で半開にしてください。



閉め方

あらかじめ下のドアを開けておきます。



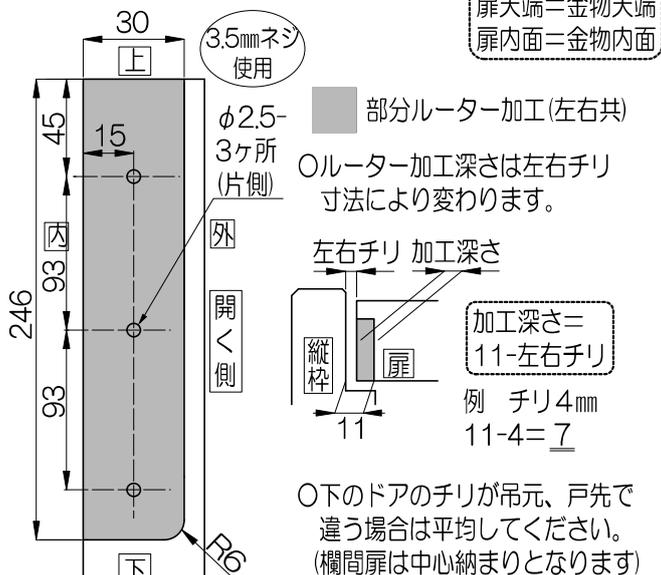
全開、半開とも扉の中央部(別途参照)を図の様に①押し上げて②閉めます。全開から閉める時に半開部分で止まる時がありますが異常ではありません。再度、閉め動作をして閉めてください。

施工者様用

扉・枠加工図

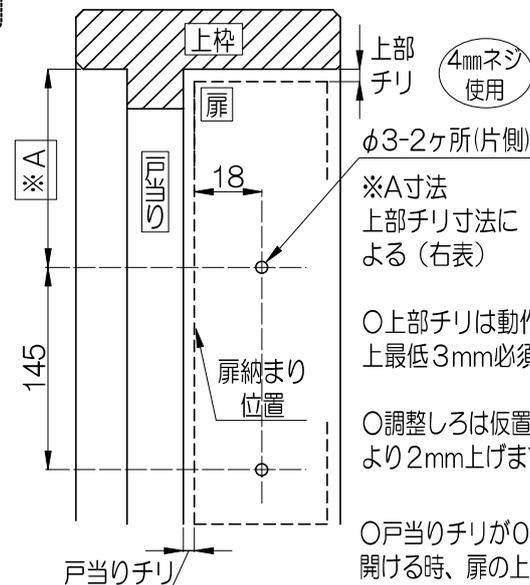
現場で扉、枠を加工される場合は本項目を参考にしてください。

欄間扉側面加工



枠 仮止めビス位置

裏面の施工要領①



上部チリ寸法別A寸法

目標チリ寸法	仮置き後		
	そのまま固定(上2)	1mm上げ固定(上1下1)	2mm上げ固定(下2)
4	94	95	96
5	95	96	97
6	96	97	98
7	97	98	99

○は目標チリ寸法からの調整範囲 4-94のみ上1

○戸当りチリが0の場合開ける時、扉の上部がこずる場合があります。